

2023年7月19日

各 位

会 社 名 株式会社ACSL  
代表者名 代表取締役CEO 鷺谷 聡之  
(コード番号: 6232 グロース)  
問合せ先 取締役CFO 早川 研介  
(TEL. 03-6456-0931)

## 測量用ドローン「PF2-AE Survey」の受注開始に関するお知らせ

当社は、この度、「PF2-AE」ラインナップの新機種であるレーザー測量用ドローン「PF2-AE Survey (測量)」の受注を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本製品の内容

測量とは特定の土地の広さや高さ、起伏などを測る重要な仕事であり、土木工事や建築、都市計画から地図作りなどあらゆる場面で測量が実施されております。しかし、人が行う測量は大変な手間とコストがかかることから、ドローンの測量への活用が積極的に進められてまいりました。その中でも、ドローンにレーザースキャナを搭載し、レーザーを地表へ照射して反射したレーザー光線の情報を基に地表との距離を測定する測量は、樹木間をすり抜けて地表まで到達することで伐採前の山林などでも地形の測量が可能であり、写真測量では得られない高精細なデータを取得することができることからニーズが高まっております。

こうした背景から、当社の国産ドローンである「PF2-AE」に YellowScan 社製の LiDAR を搭載し、より高精細なレーザー測量が可能な機体「PF2-AE Survey (測量)」を開発、発売するに至りました。「PF2-AE Survey (測量)」は、LiDAR ソリューションのリーディングプロバイダーである YellowScan 社製の LiDAR を搭載することにより、国産ドローンでの高精細なレーザー測量を可能とします。

#### 2. 今後の見通し

##### (1) 本製品の受注開始時期

2023年7月19日

##### (2) 本製品の販売による業績への影響

当社の 2023 年 12 月期の連結業績予想については、国内の売上高においては前連結会計年度と同等以上の売上高を見込むものの、海外における売上高については現時点で適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせております。

上記、本製品の受注開始による当社の業績への影響は、現時点では軽微であると見込んでおりますが、現在、その他の要因も含め精査中であり、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

以 上

2023年7月19日

株式会社ACSL

## ACSL 測量用ドローン PF2-AE Survey の受注を開始 YellowScan の LiDAR を搭載することで国産ドローンによるレーザー測量が可能に

- 本日、「PF2-AE (Advanced Edition)」の新機種、レーザー測量用ドローン「PF2-AE Survey (測量)」の受注を開始
- YellowScan 社製の LiDAR を搭載することにより、国産ドローンでの高精細なレーザー測量が可能

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷺谷聡之、以下、ACSL）は、2022年8月に、より使いやすく、よりセキュアを追求した3種の新ラインナップ「PF2-AE (Advanced Edition)」を発表しました\*。

本日、本ラインナップの新機種、レーザー測量用ドローン「PF2-AE Survey (測量)」の受注を開始いたしましたので、お知らせいたします。本ドローンは、LiDAR ソリューションのリーディングプロバイダーである YellowScan 社製の LiDAR を搭載することにより、国産ドローンでの高精細なレーザー測量を可能とします。これにより、ACSL の国産ドローンは測量分野へ本格参入いたします。

※2022年7月14日発表：[ACSL、国産産業用ドローンの新ラインナップ「PF2-AE」を発表](#)

ACSL  
国産ドローン



YellowScan  
高性能LiDAR

PF2-AE  
Survey 測量



### ■背景

測量とは特定の土地の広さや高さ、起伏などを測る重要な仕事です。土木工事や建築、都市計画から地図作りなどあらゆる場面で測量が実施されています。しかし、測量機器を使って人が行う測量は大変な手間とコストがかかることから、ドローンの測量への活用が積極的に進められてきました。

その中でも、ドローンにレーザースキャナを搭載し、レーザを地表へ照射して反射したレーザ光線の情報を基に地表との距離を測定する測量は、樹木間をすり抜けて地表まで到達することで伐採前の山林などでも地形を測量可能となり、写真測量では得られない高精細なデータを取得することができることからニーズが高まっています。

こうした背景から、ACSL の国産ドローンに YellowScan 社製の LiDAR を搭載し、より高精細なレーザー測量が可能な機体を発表するに至りました。

## ■国産ドローン PF2-AE (Advanced Edition)

PF2-AE は、A C S L がこれまで多くの企業と実証実験を重ねていく中で用途別に必要な機能やスペックを探求し、より使いやすくカスタマイズしたドローンです。これまでに、「PF2-AE Delivery (物流)」「PF2-AE Inspection (インフラ点検)」「PF2-AE Disaster Relief / Patrol (災害/警備)」の3つの機体を発表しており、この度、お客様の要望が多かった「PF2-AE Survey (測量)」を発表するに至りました。SOTEN (蒼天) で開発したセキュアなシステムを搭載しており、セキュリティの面でも安心して使用いただけます。

## ■YellowScan 社製 LiDAR Mapper+ / Ultra 2

Mapper+ および Ultra2 は小型・軽量でありながら、公共作業での地形測量・マッピングに適用する、汎用のドローン用 Lidar 計測システムです。いずれも Yellow ボタンひとつによる簡単な操作でありながら、安定した精度の計測を提供する高い信頼性と現場での実践力を備えたシステムです。また日本語メニューによる優れた操作性の YellowScan 純正ソフトウェア「CloudStation」により、計測現場でのデータ確認から、測量業務に要求されるあらゆるドキュメントを備えた高精度点群出力までが可能です。YellowScan 社は、プロフェッショナルなドローン Lidar 計測を支援する、世界のマーケット・リーダーです。

### 【製品概要】

#### ■PF2-AE Survey (測量)

寸法	全長 (プロペラ範囲) 1,173mm 高さ (カバー上面まで) 526 mm
飛行速度 (完全自律飛行時)	水平: 10m/s 上昇: 3m/s 下降: 2m/s
最大対気速度	20m/s
最大飛行時間	約 20 分
LiDAR	2 種類より選択可能 ・ YellowScan 「mapper+」 ・ Yellow Scan 「Surveyor Ultra」
標準搭載	・ 標準送信機 (スマートフォン無し) 1 台 ・ 専用アプリケーション「TAKEOFF」 ・ リモート ID モジュール

※より詳細な製品情報は、A C S L 製品サイトの PF2-AE Survey (測量) ページをご覧ください。

<https://product.acsl.co.jp/product/post-2559/>

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以 上